

## 教育目標

- 確かな学力
  - 豊かな心
  - 健やかな体
- を持つ生徒の育成



喜多方三中  
学校だより

第23号

平成27年12月22日

文責：佐久間 雄彦

### 第二学期 終業式 式辞

残暑厳しい8月25日に始まり、秋を経て冬を迎えた授業日数80日間の、第二学期も今日で終了します。始業式で3年生には、納得する進路実現のために最大の努力をすること。2年生には、独り立ちする努力をすること。1年生には、自分自身に自信が持てるための努力をすることと話しました。充実した学期にすることができたでしょうか。

二学期は、多くの行事や活動、大会、コンクールが実施されました。また、待ちに待った体育館の改築工事も始まりました。

この二学期、今年も学校を上げて充実したことといえば何といても煉華祭であったと思います。合唱コンクール、総合発表、学年パフォーマンス、有志発表など、実行委員会を中心に、皆さんと先生方が協力して取り組み、各係活動では3年生が1・2年生を引っ張り、創造性をおおいに発揮しました。

また、長縄とびでは、入賞した3クラスとも新記録を達成するなど、学級の団結が見られ大いに盛り上がりました。生徒会活動では、本部や各専門委員会で工夫のある活動ができたことは、伝統であり大きな成果だと思えます。

対外的にも、立派な結果を数多く残しました。

次に、継続して取り組んでいる「さわやか三中生 あいさつ 服装 言葉遣い」です。来校された多くの方から皆さんの「あいさつ」の素晴らしさについてお褒めの言葉をいただいています。しかし、授業の発表などを含め、もっと向上できるはずです。日々の生活の中であいさつや返事の重要性を再確認し、今以上にさわやかな、洗練されたあいさつや返事ができるように努力してください。

次に、本校ではいじめ撲滅を宣言していじめをしない、させない、許さないを生徒心得のひとつとして取り組んでいます。しかし、心ない言動により、友だちにいやな思いをさせたということが校内で数件ありました。とても残念なことです。すでに解決はしていますがこれからもいじめに結びつくような言動がないよう心がけ、いつの時も相手の立場になって物事が考えられる、行動ができる優しい人になってください。もう一つ残念だったことは、物が紛失することがあったことです。これからは、三中生全員がいつも安心して、学校生活を送れるようにしていきましょう。

明日からの冬休み、平成27年が終わり、平成28年新しい年を迎える大きな節目です。二学期をそして平成27年を振り返って下さい。

自分はどれだけ成長したのか、何ができて、何ができなかったのか、できなかったのは何処に問題があったのか。これから自分はどうしなければならぬのかを考えて、平成28年、そして第三学期の目標をしっかりと立てて下さい。一年の計は元旦にありと言われます。

最後に「命の大切さ」という点から、冬道での交通事故、火災事故、などに十分気を付けて冬休みを過ごし、新しい年を迎えてください。2016年申年が今年以上に飛躍することを願い式辞とします。

平成27年12月22日

喜多方市立第三中学校長 佐久間 雄彦

